



たぐすい

TAKUSUI

2000 OCTOBER No.528

10

●ズーム●

平成12年度
兵庫県のり養殖安定対策協議会定例総会を開催

COLUMN

◆ランプのEX LIBRIS◆

●書籍を買う時、新刊書は通常の本屋で求めるが、少し以前の発刊本は書店では手に入らないため、古本屋を利用することになる。古本は汚いとか微菌が気になること、敬遠する向きも多いが、新刊本も何人かが触ったものであり、決して真つ新とは言えない。潔癖性の方は、古書に手を出さぬが賢明だが、書物について手垢や汚れは、それが愛読された証左であり、言わば勲章のようなものだ。そんな勲章が嬉しく思えるようであれば、古書店巡りは珍本奇書が掘り出せるかも知れず、楽しいものとなる。

●古書の中に時折「贈呈○○様」と著者が署名した本が見つかる。新本のよ

うに何ら読まれた形跡もなく、親愛の情をこめた進呈本であろうに、何か衰れを感じてしまうのである。先般、出掛ける機会があり、久しぶりに東京の神田界隈を歩いたが、古書店舗の林立する独特の町は健在だった。大きな書店が増えて全体にきれいになっていったが、小雨に追われ雨宿りの積もりで入った店で、気に入った古書が随分あつて、帰りの荷物が重たくなった。専門書ばかりの店や雑多な書物の店など、古書街の散策は楽しいものである。台風接近で雨がきつくなり、本を濡らさぬようにしたら、肩の辺りがズブ濡れ

EX LIBRIS(エクスリブリ

スは「書票」と訳されるが、書物の持主を表す八ガキ半分ほどの可愛い蔵書票のことである。書籍が貴重品だった十五世紀半ばにドイツで始められたが、「紙の宝石」とも呼ばれている。古書店で手に入れた本にランプの図柄を版面にしたEX LIBRISが貼つてあつた。きれいな多色刷りの書票で、本の状態も良く、これまで大切に扱われて来たことがよく判り、今日から我が蔵書として面倒を見ようという気持ちにさせられる。こうした事は滅多に有るものでなく、儲け物をしたような気がしている。

◇

COLUMN 2

ランプのEX LIBRIS

ズーム 3

平成12年度
兵庫県の養殖安定対策協議会定例総会を開催

インフォメーション

信漁連のキャッシュカードが一段と便利になりました

特集 4

ブラジル・パラナ州友好提携30周年
記念事業参加

TOPICS 6

洋上大学に参加して①

水試ノート 7

マアナゴの不思議

栽培漁業センターです 8

海区漁業調整委員会だより 9

普及員だより

「ホタルイカ料理」の調査を始めた
浜坂町漁協婦人部

旬の美味しい話 10

じゃこか菜

兵庫JCC通信

JA 一平成12年度JA営農指導員リーダー
養成研修会を開催
生協一第12回近畿地区生協・行政合同会議

拓水Promenade 11

土産について考える

豆時事

編集後記

こちら海ですロケだより 12

淡路 海のフェスタ2000
淡路地区漁協青壮年部の活動 ~淡路島各地より~

イグアスの滝について

イグアスの滝は、ブラジルパラナ州南西部とアルゼンチンとの国境にまたがる大瀑布で、大小合わせて275の滝が幅4キロにわたって広がり、最大落差は80メートルもあります。

辺りには地面を揺るがすほどのゴォーという轟音が響きわたり、大小無数の滝が、白い水しぶきを空高く舞い上げ、虹をつくりながら滝壺になだれ落ちていく姿は、私達に自然の偉大さを実感させてくれます。

(本紙P4ブラジル・パラナ州友好提携30周年記念事業参加から抜粋)

フォト歳時記

今月の
表紙

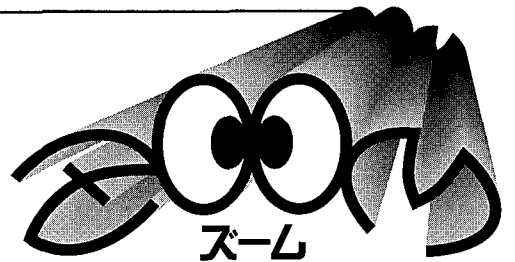


「拓水」は漁協と漁協系統団体を結ぶ「コミュニケーション」の場です。報知したいこと、文章などみなさんの投稿は大歓迎いたします。裏面の発行所「拓水係」宛送付ください。

平成12年度

兵庫県のり養殖

安定対策協議会定例総会を開催



去る九月十一日、兵庫県立水産会館において、平成十二年度兵庫県のり養殖安定対策協議会の定例総会が開催されました。冒頭の挨拶に立った小川会長（県漁連会長）は、昨年の生産状況にふれられ、三月以降の播磨灘を中心とした広範囲且つ長期間の色落ちが拡大したため数量が伸びず、最終的には数量で十七億六千万枚、共販金額百五十六億六千万円と前年を約十三億円下回るなど誠に厳しい年であった。加えて、

昨今の雪印問題以降、一般消費者からの「安心・安全な食品」への志向が高まっている中で、のり生産においても酸処理剤の適正使用、異物等の混入防止、生菌数抑制等の問題も同様の範疇として位置付けられ、流通サイドからさらに厳しい要求が課せられている現状を踏まえ、これらの問題について会員各位の更なる取り組みを要請された。

議事内容と結果は次の通り。

①兵庫県のり養殖安定対策協議会規約について

②のり養殖指針について

③のり生産加工マニュアルについて

以上三件は、昨年五月の持続的養殖生産確保法「養殖新法」の施行により、必然的に見直し・全面改正等を余儀なくされたものでありますが、いずれも原案通り承認されました。

④平成十二年度漁期対策について

いわゆる目標生産数量、共販期間（漁期）、不良品対策等の問題ですが、冒頭に、全国段階の目標生産数量は九十五億枚、共販期間は原則百三十日間、不良品対策としては、三円の下物基準価格を設定し、三円以下の無札となったものについては、原則として消却処分するということになった（いずれも前年通り）旨の報告がありました。これを受け、本県の目標生産数量は十七億一千九百五十六万枚、共販期間（漁期）については、前年通りA・Bの二ブロック制を採用。また、不良品対策についても、前年通り三円を設定、再上場せずに一回で消却処分とし組合等には返品しないという内容で、いずれも原案通り承認されました。

⑤平成十二年度酸処理剤の取扱いについて

この件については、まず、兵庫県漁連のプライベート商品の取扱いについての説明があり、質疑応答の中で、一部回答を留保する場面もありました。

その他、酸処理剤等の適正使用推進体制、同使用に関する指導事項及び使用要

領、同罰則規定、並びにのり養殖に関する監視委員会規定等々（いずれもほぼ前年通り）については、いずれも原案通り承認されました。

⑥平成十二年度重点指導事項について
養殖面・製造加工面並びに経営面から具体的項目に沿って説明が行われ、いずれも原案通り承認されましたが、前年と比べ、特に養殖面においては、原藻及びのり網の海上投棄の禁止、また、製造加工面においては、徹底した異物混入防止策・生菌数対策としての衛生意識の向上等が目立った内容であった。

（資料提供：兵庫県漁連販売部）

インフォメーション

● 信漁連のキャッシュカードが一段と便利になりました ●

この度、郵便貯金との提携が実現し、10月2日から郵便局のATMで信漁連のキャッシュカードが利用できるようになりました。

これで全国の銀行および郵貯と全て結ばれたことになり、たいへん便利にご利用いただけます。

◇ ご利用内容

「現金払出し」と「残高照会」

◇ 郵便局設置のATMのご利用時間

平日 午前8:45～午後7:00
土曜・日曜日 午前9:00～午後5:00



このマークのある郵便局のATMでご利用ください。

◇ また、郵貯発行のキャッシュカードで信漁連のATMをご利用の場合も、「現金払出し」と「残高照会」のお取引となります。

ブラジル・パラナ州友好提携 三十周年記念事業参加



財団法人 兵庫県水産振興基金

ブラジルの自然環境や文化に触れ、親善交流を図りました。

● 兵庫県パラナ州友好提携 三十周年記念祝賀会

ブラジルと兵庫県のつながりは、一九〇八年にブラジルへの農業移民を乗せた最初の移民船「笠戸丸」が神戸港を出港して以来のことであり、一九七〇年にはパラナ州との間で『兵庫県パラナ州友好協力協定』が締結され、兵庫県とブラジルとの交流に大きな成果を上げています。

『記念共同声明』は、パラナ州レルネル知事らとの意見交換を基にまとめられ、これまでの友好提携の成果を確認するとともに、今後も、ソフトウエア分野、地球環境保護、兵庫県からの水産技術支援などで協力することが合意されました。

貝原知事を総団長とする「兵庫県南米友好訪問団」が、平成十二年七月二十六日から八月五日まで、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイの三カ国を訪問しました。この訪問団には、経済交流団や県民交流団など、総勢七十二名が参加し、ブラジルのパラナ州との友好提携三十周年記念事業や、三カ国の日系人兵庫県人会と交流するなど、南米との友好を深めました。

当基金は、平成十二年度「国際交流事業」として、塩田専務理事を団長とする二十名が参加し、ブラジルのパラナ州クリチバ市で開催された「兵庫県パラナ州友好提携三十周年記念祝賀会」や、サンパウロで開催された「ブラジル兵庫県人会創立四十周年記念式典」などに出席しました。「友好提携三十周年記念祝賀会」では、貝原知事が、パラナ州との交流促進を誓った『記念共同声明』に調印されました。

また、当基金独自でパラナ州の大西洋に面するパラナグア市の港を訪問し、パラナグア市長や漁業関係者と交流し、さらに、



「記念共同声明」に調印する貝原知事

参加者の所属と氏名(敬称略)

所 属	氏 名
(財)兵庫県水産振興基金	塩田 敏雄(団長)
兵庫県南米漁協同組合連合会	吉野 生壯
金口漁業協同組合	濱邊 頼光
香住町漁業協同組合	吉岡 修一
沼島漁業協同組合	青石 協
淡路町漁業協同組合	高橋伊勢雄
兵庫県漁業協同組合連合会	壽 進
兵庫県漁業信用基金協会	藤原 力
兵庫県内海漁船保険組合	岡本 敏夫
(財)兵庫県栽培漁業協会	本下 豊敏
兵庫県漁港協会	吉岡 三良
兵庫県漁協青壮年部連合会	辻 久信
武田福太郎	武田福太郎
萩原 靖視	萩原 靖視
木村 一樹	木村 一樹
木下 拓治	木下 拓治
武田 雷介	武田 雷介
堀 豊	堀 豊
近藤 敬三	近藤 敬三
吉和 恭子	吉和 恭子
(財)兵庫県水産振興基金	

● パラナ州の水産業

パラナ州の専業漁家は約二千戸あり、その殆どが無動力のカヌーによって、パラナグア湾とグアラツーパー湾内で操業する零細漁業です。私達が訪問したパラナグア市の漁業関係者は、当基金に対する歓迎と、日本の漁業技術の支援を希望する旨を挨拶されました。

なお、パラナ州環境局の中村長官(明石市出身)の要請で、兵庫県が水産技術者を派遣することになり、技術派遣員として兵庫県立水産試験場の武田資源部長と堀主任研究員が訪問団に参加することになりました。中村長官は、零細な漁業者の生活向上のため、環境に配慮した漁業開発を模索しておられ、今回の兵庫県からの水産技術派遣が実現したものです。

両氏は、七月三十日から八月三日まで、現地の水産技術者や漁業者と交流し、漁業の現状などを調査しました。詳細については、次号で報告される予定です。

● 日系人社会

ブラジル兵庫県人会が創立四十周年を迎え、『ブラジル兵庫県人会四〇周年記念式典』が、サンパウロで開催されました。式典終了後の昼食会では、「兵庫のつどい」として交流会が催され、おでんや寿司などの日本料理を囲んで日系人と訪問団が談笑し、会場は大変賑やかな雰囲気包まれました。

ブラジルの日系人の数は約二〇〇万人で、ブラジルの人口一億五千万人の一%に満たない数ですが、各分野で活躍しています。ブラジルの大学受験生の間では、「医学部に進学したかったら、日系人を一人殺せ。」というブラックユーモアが囁かれるほど、日系人学生は頑張るそうです。また、現代の若者は、一世・二世の親から、日本人として恥ずかしくないように真面目に生きることを奨められるそうで、そのような日系人が留学生として日本にやってきて日本人を見ると、「これは日本人ではない。」と思う



パラナグア市長・漁業関係者との交流



り、電車を下りてから展望台までの二百十六段の階段が私達を苦しめました。残念ながら、山頂は霧のためキリスト像は拝見できませんでした。この丘からの眺望は、時がたつのも忘れさせてくれる程の美しさです。緑の山と紺碧の海が複雑に入り組み、

そうです。このような日系人は結婚相手にも日系人を強く希望するのですが、なかなか良い出会いがないので日系人以外のブラジル人と結婚するため、五世・六世になると混血がかなり進んでいるそうです。遠い将来、日系人の姿形は母国人と違ったものになるでしょうが、日系人が誇りにする『日本の精神』は永遠に受け継がれるのではないのでしょうか。●リオ・デ・ジャネイロとイグアスの滝

コパカバーナやイパネマの海岸が白く横たわる景観は、世界一風光明媚な近代都市といわれるとおりの美しさでした。コパカバーナは世界一のリゾート海岸であり、紺碧の海に弧を描いて伸びる白い砂浜と美しい遊歩道、数キロにわたって林立するホテルや高級マンションのコンプレックスは、私達をリゾート気分させてくれます。夏には、世界中から美女達が集まるらしいのですが、私達が訪れた季節は冬でしたから、砂浜の美女は何処にもいません。夏にもう一度リオに来たい。という青年部？の思いは叶えられるのでしょうか。イグアスの滝は、パラナ州西部のアルゼンチンとの国境にまたがる大瀑布で、大小合わせて二百七十五の滝が幅四キロにわたって広がります。最大落差は八十メートルあります。辺り一帯には地面を揺るがすほどのゴーゴーという轟音が響きわたり、大小無数の滝が、白い水しぶきを空高く舞い上げ、虹をつくりながら滝壺になだれ落ちていく姿は、私達に自然の偉大さを実感させてくれます。

『イグアスの滝』は、これまで余り馴染みがありませんでしたが、『世界一の滝』として団員の心に深く刻まれました。

●マヤ文明

ブラジルでの日程を終えた一行は、メキシコ・ユカタン半島のカンクンを訪れました。ここは、アメリカ東海岸のニューヨークやシカゴなどから、年間一八〇万人の観光客が訪れる保養地です。このあたりには約二百ものマヤ遺跡が点在しており、私たちは、メキシコ最大の遺跡であるチチェン・イツァを一日かけて視察しました。

チチェン・イツァ遺跡はカンクンから二百キロ西にあり、広大な雑木林を一直線に貫くハイウェイをバスが走り、行けども行けども単調な景色が続くばかりでした。

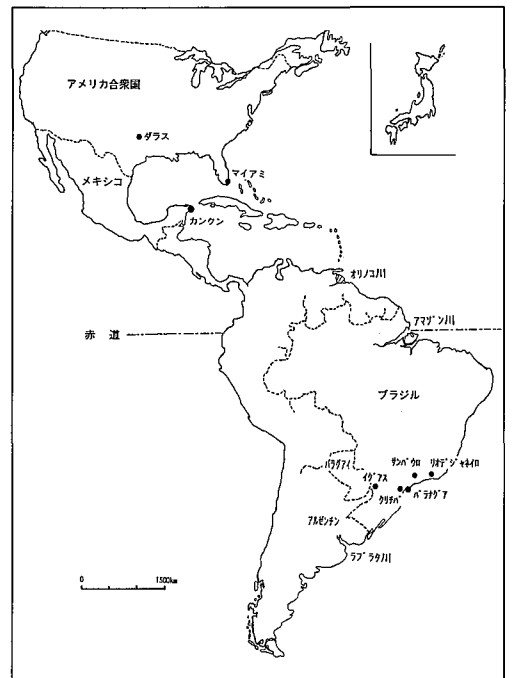
たまに焼き畑農業の煙を目にする程度の景色は睡魔となつて、団員を襲いました。遺跡では、高さ二十

三メートルの巨大ピラミッドが森の中に突然姿を現し、私達をマヤ文明に導いてくれます。このピラミッドは正確に東西南北を向き、四面合わせると三百六十五段ある階段は太陽暦を表しているそうです。ここでは、ピラミッドの他に、天文台やいけにえの湖、足だけで競技するペロータ球技場などがあり、マヤ建築や天文観測の高度な技術に触れることができました。

ピラミッドの階段は非常に急勾配で、体力に自信のある団員が頂上まで上りました



チチェン・イツァの遺跡にて



が、頂上から見下ろす階段は絶壁のようで、帰りは恐る恐る降りていました。

この遺跡は、六世紀から十三世紀にかけてマヤ族によって支配された都市であり、メキシコ湾の文化の中心として栄えました。十六世紀から始まるスペインの侵略によって滅びました。少数のスペイン人が容易に征服できた理由は、すでにマヤ文明が衰退期にあったことも一つの要因らしく、文明の儂さを私たちに教えてくれているようです。

マヤ文明の末裔は、トウモロコシ栽培や観光相手の民芸品を売ったりして生計を立てていますが、背が低くて浅黒い顔立ちは大変親しみやすく感じました。

●おわりに

今回の旅行は、公式行事が多いことや、現地での移動が飛行機であり、搭乗回数も十三回にのぼるなど、大変強行軍でありましたが、参加者全員のご協力によって、無事に旅行を終えることができました。

なお、帰国後に、腹痛を訴える団員が約半数おられました。一週間程で全員が回復し、各々お仕事に精を出しておられます。

「洋上大学に参加して」①

兵庫のり研究所 川崎 周作



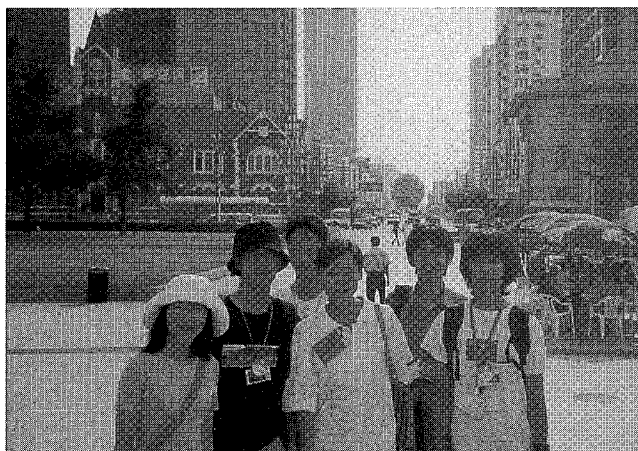
ホームステイ

第二十一回近畿青年
洋上大学は平成十二年
八月十三日(日)に、
総勢五百名と私自身の
課題を乗せパシフィッ
クビーナス号にて、中
国・大連に向け舞鶴港
を出港しました。いよ
いよ、十二日間にわた
る洋上・訪問地研修の
スタートです。まずは、
グループワークという
班単位での話し合いが
もたれ、十二日間の仕
事の役割分担や、これ
からのことについて話
し合うなかで皆の積極
さに驚きと希望を持ち
ました。また、セミナー

では「人間の未知の魅力を評価する発達
の見方・考え方」と題し、乳児期から幼
児期の発達の段階での行動を、他の動物
と比較しながら発達の視点等を学びまし
た。このことは私にとって大きな勉強・
知識となりました。こうして三日間の船
内活動が終了し、いよいよ大連上陸とな
りました。

大連に上陸後、日中青年交流として東
北財經大学を訪問し事前に用意していっ
た質問等を学生にぶつけてみました。そ
うすると驚くことに、凄く真面目で将来
への考えをしっかり持ち学生生活を送っ
ていました。少し自分が恥ずかしく思う
瞬間でもありました。そして翌日、学生
と大連市内を散策し日中青年交流は終わ
りました。

その後ホームス
テイ先である大黒
石村に向かいまし
た。ここは高層ビ
ルの建ち並ぶ大連
市内とは違い、何
か懐かしさを感じ
させる農村部の村
でした。受入先の
家では、お父さん
とお母さんが私達
四人を温かく迎え
てくれ、食べきれ
ないほどのごちそ
うを用意してくれ
ていました。日本
語はまったく通じ



日中青年交流

なかつたですが字を書いたり、表情など
でコミュニケーションを図りました。十
分なコミュニケーションは図れませんが、
私達に十分なくらい伝わってきました。
中国人の客をもてなす気持ち、人間性を
肌で感じる事ができました。そして、
その夜大連を後にし天津に向け出港しま
した。

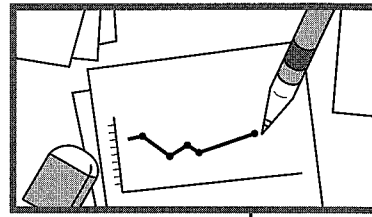
天津・北京での視察では、故宮(紫禁
城)に行きその正門である五万人収容
の大きさに度肝を抜かれました。また戦
国時代、中国には七つの大国があり、そ
れらの国がそれぞれに自分達の国境とし
て長城で囲んでいました。

天下統一に成功した始皇帝が各国の長城
をつなぎ合わせてでき
た万里の長城へ行き、
その歴史を一步一步踏
みしめ登っていきまし
た。この視察で歴史の
深さとその重みを感じ
ました。こうしてあっ
という間に中国の視察
は終わり、船は日本に
向け出港しました。

また、船内でのグルー
プワーク等の船内活動
に入り、みんな本音で
話し合いぶつかり合う
なかでやっとここで班
が一つになったような
気がしました。そして、
帰港日前日さよならデッキディナーが行
われ、チャイナドレスに身をつつんだ女
性陣にどきどきしながらの最後の夕食と
なりました。そして、大阪港へ帰港し下
船時には班全員が一つになり歌を歌い、
涙、涙の下船・別れとなりました。



デッキディナー



マアナゴの不思議

マアナゴによく似た魚は？と聞かれたら皆さんはどのように答えますか。ウナギやハモ：そう答える人が多いと思います。細長くてヌメヌメしていてつかみ所がないところなどそっくりです。実はこの答えは分類学的にも的を得ています。ウナギやマアナゴやハモそしてウツボの仲間などいわゆる長ものと言われている魚はウナギ目に属しているのです。

ウナギ目の魚は生まれてから稚魚（親と同じ形）になるまでの間、普通の魚とは全く違った形をしています。その時期の仔魚をレプトケファルス（葉形仔魚）と言います。マアナゴのレプトケファルスは三、四月のイカナゴ漁の漁獲物によく混じっています。見たことのある方も多いと思いますが、明石周辺でハナタレとか高知でノレンレとか言っているあの半透明で柳の葉っぱのような形をした仔魚です。レプトケファルスは親とは似ても似つかぬ姿をしているため別の種の魚とされていた時代もあったようです。

四月のはじめに船曳網で混獲されたマアナゴのレプトケファルスを飼育してみますと、餌を全くやらなくても五月下旬には変態が完了して稚アナゴになります。マアナゴのレプトケファルスは全長

十二センチメートルぐらいまで大きくなりますが、それ以降は変態がすすむにつれて短くなり、変態が終わって稚アナゴになったときは六、七センチメートルです。レプトケファルスには伸長期と変態期があり、伸長期には大きくなりますが変態期には体が縮むのです。

ところで瀬戸内海では全長が八センチメートル未満の伸長期のレプトケファルスは見つかっていません。これより小さいレプトケファルスはいったい何処にいるのでしょうか？実はこれが全くわかっていないのです。全国的にみても駿河湾の水深百十二メートルの地点で一尾（全長十六ミリメートル）採集された記録があるだけです。また、マアナゴは未だに産卵場も不明です。古い文献の中に南西諸島周辺（沖縄の近海）が産卵場ではないかという記載があり、長らく半定説のようになっていたのですが、それを裏付ける実証データはありません。実際、天然の成熟したマアナゴの採集報告はまだ一件もないのです。これとよく似た話にウナギがあります。日本ウナギについても長らく産卵場は謎でしたが、大学を中心とした大規模な調査の結果、太平洋はるか南のマリアナ諸島周辺に産卵場のあ

ることがようやく明らかにされました。その点からみればマアナゴの生態はウナギよりもわかかっていないと言えます。

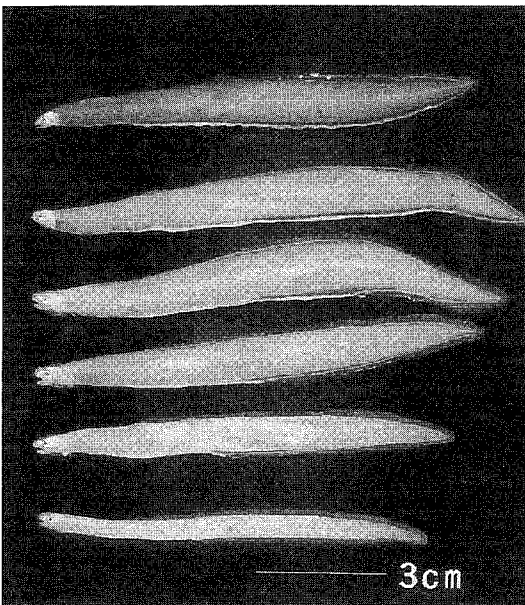
しかし近年、マアナゴの産卵場を明らかにするための研究が大学等により着実に進められています。マアナゴのレプトケファルスの耳石には木の年輪のような一日一本の輪（日周輪と言います）ができることが知られています。輪の数を数えることによって生まれてからの日数を知ることが出来ますが、この情報をもとに産卵場の推定をしようという試みがなされています。また、全国各地で採集されたレプトケファルスのDNA分析により、産卵場が一つなのか複数あるのかなども調べられつつあります。このような研究成果の積み重ねによって、近い将来産卵場も明らかにされるだろうと期待されています。

マアナゴについてはこれ以外にも多くの謎が残されています。そのうちの一つである着

底期稚アナゴ（全長六、七センチメートル）の生息場については昨年度の私達の調査でようやくその一端が明らかとなりました。それについてはまた別の機会に紹介したいと思います。

兵庫県のマアナゴ漁獲量は全国第一位にありますが近年減少傾向が目立っています。マアナゴ資源を将来にわたって持続的に利用していくためには、一層の資源管理に取り組むとともに、生態を明らかにするための調査を並行して進めていかなければと考えています。

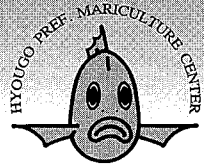
（資源部 反田 實）



マアナゴのレプトケファルス
（上から下へステージが進む）

栽培漁業センターです

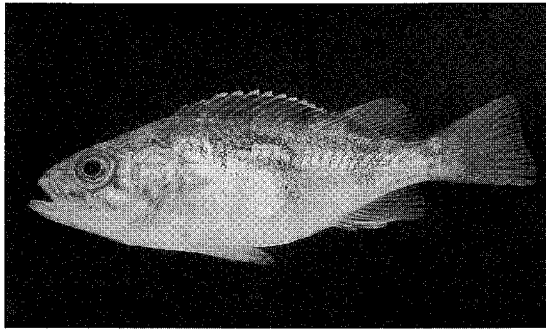
145



本誌六月号でクロソイの親魚と産仔について紹介しました。その後、順調に産仔が行われ、仔魚が生育し、先日無事に放流することができました。

さて、卵胎生であるクロソイの産出されたばかりの仔魚の全長は約七ミリで活発に泳ぐことも、餌を摂ることもできます。一方、卵生であるヒラメの孵化仔魚の全長は約二・七ミリ、マダイは約二・二ミリと小さく、泳ぐことはできませんが、実際は漂うという表現の方が適切ですし、餌を摂ることもできません。孵化して三日目頃からようやく口が形成され、餌を摂り始めるのはそれ以降になります。

魚類の種苗生産の餌料は本欄で何度も紹介されているように最初にワムシ、次にアルテミア、配合



クロソイの種苗 全長86ミリ

飼料と徐々に大きな餌を与えていくのが一般的です。特に種苗生産初期のワムシを与える時期は非常に重要であり、その後の生残、成長に影響を及ぼすとされています。ところが、クロソイでは産出された仔魚の中にいきなりアルテミアを摂る個体が見られます。つまり、ワムシを摂る時期を親魚の体内で栄養を受けて過ごしたことになり、産出された仔魚の活力がそのまま飼育の良否を左右します。ですから、良い親魚の確保と良い産仔条件が重要なポイントとなっています。

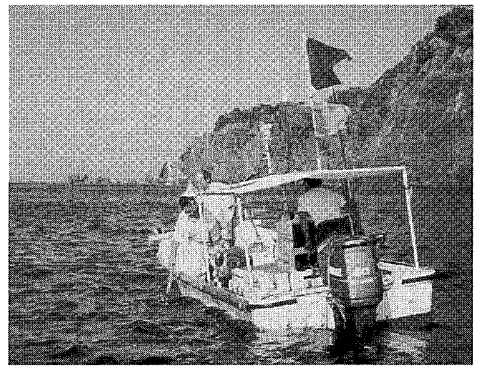
クロソイ仔魚の成長は産出後二週間で約十ミリ、一ヶ月で十五ミリ程度です。今回、放流を行った八月下旬には、産出後百二十日

平均全長八十六ミリまで育ちました。放流尾数は二千二百尾です。標識として全ての個体の右側の腹

鰭を抜いてあります。この方法は簡単、確実に特別な道具を必要としない利点があり、慣れてくると一人当たり一分間に十尾以上は抜

去することができます。また、魚に与えるダメージも少ないようで、腹鰭を抜くことによるへい死はありませんでした。放流場所は追跡調査が可能な場所として、但馬水産事務所試験研究室と相談の結果、香住町余部漁港の西側斜路付近と

浜坂町諸寄の大振島沖の水深八メー



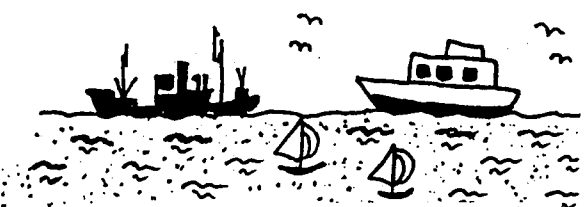
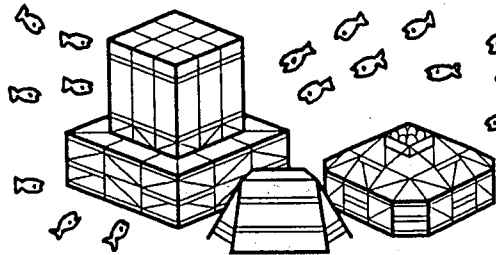
クロソイの種苗の放流の様子

トル地点の二箇所としました。放流後、直ちに海底に向かって泳ぎ去ったクロソイ種苗が、自然に馴致し、資源として添加されることを願ってやみません。

ところで、各事業所の状況ですが、一見の兵庫県栽培漁業センターではオニコゼの種苗生産試験及び中間育成試験を継続中です。また、昨年、試験生産したアサリを九月下旬に放流する予定です。赤穂事業場ではクルマエビの中間育成事業が八月二十九日の放流を以て終了しました。淡路島の津名事業場ではクルマエビ全長三十七ミリ、二十六万尾を中間育成中で、九月下旬に出荷する予定です。但馬栽培漁業センターではサザエの採苗を終え、巡流水槽五面で平板飼育中です。

(兵裁協 南浦 達也)

躍動する海 活動する 鋼製魚礁 神鋼



神戸製鋼グループの魚礁メーカー

神鋼建材工業株式会社

本社 〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町46-1
大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2丁目6-17(大阪神鋼ビル)

海洋製品室 TEL (06) 6206-7440
FAX (06) 6222-4904

海区漁業調整委員会だより

瀬戸内海区

八月二十五日

兵庫県瀬戸内海海区

漁業調整委員会

(兵庫県民会館で開催)

一 会長並びに副会長の選任について

協議の結果、会長に兵庫県漁業協同組合連合会長の小川委員、副会長に林崎漁業協同組合長の石井委員が選出された。

二 瀬戸内海連合海区漁業調整委員会委員の選出について

協議の結果、小川会長が瀬戸内海連合海区漁業調整委員会委員に選出された。

三 岡山・兵庫県瀬戸内海連合海区漁業調整委員会委員の選出について

協議の結果、小川会長、石井副会長、育波浦漁業協同組合長の丸一委員、坊勢漁業協同組合長の桂委員、家島漁業協同組合長の中村委員が岡山・兵庫県瀬戸内海連合海区漁業調整委員会委員に選出された。

但馬海区

八月二十五日

但馬海区漁業調整委員会

(兵庫県民会館で開催)

一 会長並びに副会長の選出について

委員の互選により、当委員会の第十七期の会長に「吉岡修一」委員を、副会長に「川越栄一」委員を選出。

二 さより船びき網漁業の許認可取扱方針について

去る六月をもって許可の有効期間が満了した当該漁業の許認可取扱方針(案)について事前協議。

この件については、来月の委員会で県知事から諮問される予定。

三 全漁調連日本海ブロック会議の提案議題について

議題「日韓漁業暫定水域等における漁業秩序の早期確立等について」を提案することに決定。

訂正とおわび

九月号の「ズーム」第二十六回豊漁祈願祭を開催！の記事の中で県議会議員の北浦先生のお名前を誤って北瀬先生と記載しておりました。ここに謹んでお詫びいたします。ご迷惑をおかけいたしました。

普及員だより

「ホタルイカ料理」の調査を始めた
浜坂町漁協婦人部

浜坂町のホタルイカ漁獲高が全国一位であることをご存知でしょうか。そんな見出しで、浜坂町漁協婦人部(加藤千鶴子部長、部員六十一名)が「ホタルイカ料理」について浜坂町の一般家庭や飲食業者を対象にアンケート調査を実施しました。

ホタルイカの漁獲量は平成二年頃から年々増え続けていますが、大量に漁獲されている割に食べ方のバリエーションが少ないため、消費が伸びず魚価の低迷を招いている現状があります。

そこでホタルイカの料理レシピをのせたパンフレットを作ってPRに努めてきましたがこのたび、浜坂町独自の料理や加工の開発をするために、地元でのホタルイカの利用状況やどんな食べ方、加工方法がされているのか調べることにしました。

一般家庭の三千五百戸にはアンケートで依頼し、旅館民宿等営業者の二十戸には聞き取りで調査を進めています。

調査に先立って、ホタルイカの先進地である富山県の加工事例を研究したり、香住水産事務所から指導を受けながらホタルイカについての勉強を進めてきました。

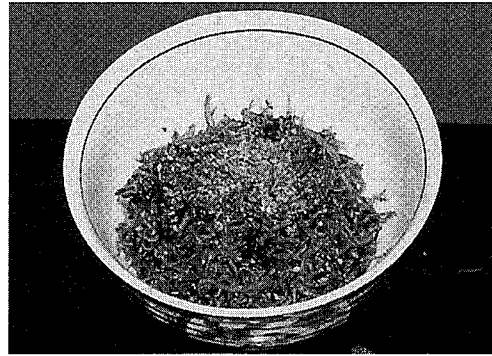
今後はこの調査結果をまとめて、その成果を活かしたホタルイカ料理の開発研究に期待がかけられています。

浜坂農業改良普及センター

松元 けい子



じゃこか菜



◆材料

ちりめんじゃこ 50g 砂糖 大さじ2
 大根の葉 1本分 ごま油 大さじ2
 しょうゆ油 大さじ1 いりごま 少々

◆作り方

- ①大根の葉は、細かく刻んで沸騰した湯にさつとくぐらせ、水にとってさます。
 - ②①の水気をよく切って、フライパンで少しから煎りする。
 - ③ごま油を入れてちりめんじゃこを炒め、少ししたら②を入れさらに炒める。
 - ④しんなりしたら砂糖を少しずつ入れ、なじんできたらしょうゆを少しずつ入れる。
 - ⑤盛りつけ時にごまをふりかける。
- ※ちりめんじゃこに塩がよけきいているときは、しょうゆを控える。

兵庫JCC通信
 今、JA・生協では

JA 平成十二年度
 JA営農指導員リーダー養成
 研修会を開催

J A兵庫中央会は八月二十二日～二十五日の四日間、六月に引き続きJA営農指導員リーダー養成研修会(第二期)を加西市の県立中央農業技術センターで開催し、県内十七JAから約二十名の営農指導担当者が参加しました。

今回の第二期は、兵庫県内の水稲栽培・酒米生産の現状と課題、病害虫防除、葉面生育診断や品種別による食味評価など稲作を主体とする講義・実習が行われました。専門研究機関からの高度な研究報告を受けて、参加者のJA営農指導担当者からは、日頃の営農指導現場に照らした質疑や意見が活発に交わされ、知識を高めました。

また研修会全日程は好天に恵まれ、屋外での実習作業も順調に進み、参加者や研究員相互の情報・意見交換や相互交流も積極的に深められ、大変意義の大きい研修会となりました。今後各参加者の、それぞれの生産指導現場における実践が期待されています。

J A兵庫中央会では、第三期を三木市の協同学苑に



炎天下、熱心に実習に励む研修会参加者

あるJA兵庫中央会教育センターにおいて十一月十四日～十七日の四日間の日程で開催し、また県JA営農指導員大会を平成十三年二月に予定するなど、JAの営農指導機能の向上に向けた取り組みに引き続き取り組んでいきます。

生協 第十二回
 近畿地区生協・行政合同会議

九月五日(火)から六日(水)の二日間、第十二回近畿地区生協・行政合同会議が奈良県新公会堂で開催され、三十四名が参加。兵庫県からは消費生活対策室の井上忠仁室長、小野山守吏員、兵協連からは小倉修悟会長理事、伊藤潤子理事、栗栖事務局次長が参加しました。

第一日目の会議では、まず近畿地区生協府県連を代表して小倉修悟会長が挨拶。奈良県側が歓迎の挨拶を行った後、厚生省の島村力夫生協検査官、日生協の布藤明良常務理事よりテーマ「二十一世紀における生協の社会的役割」にそった基調報告が行われました。

続いて各府県連から「食の安全」「環境」「男女共同参画」「地方分権」「福祉」など現在生協が取り組んでいる重点課題についての報告が行われ、意見交換しました。

二日目は社会福祉法人協同福祉会 特別養護老人ホーム「あすなら苑」、奈良県営福祉パーク施設を視察、檀原考古学研究所付属博物館の見学を行いました。

奈良県営福祉パーク施設の館内は、障害者にやさしい住まいの設計

が施され、看護補助用具の展示・販売のほか、実際に障害者の生活を体験出来るコーナーもあり、障害者の生活を理解する上で重要な役割を果たしています。



近畿地区府県連を代表して小倉修悟会長があいさつを行いました

巻末エッセイ

土産について考える

◆旅に出て何に感動して帰ってくるかは、人により様々だろう。景色の良さや食べ物の事

◆旅の楽しみは、未知の場所へ赴くこと、知らない所を歩くことであろう。長く知っている積もりの所でも、改めて歩いてみると何か発見がある。それまで見過ごしていた諸々に出会い、オオっと見直す切っ掛けになったりする。知らずに居ても何ら構わないが、知らないよりも知っている方が嬉しいから、初めての町の路地を歩き、知らない町の古本屋を冷やかしたりする。今ひとつの旅の楽しみが、土地の土産を買い求めることで、土産品を選ぶのも旅の醍醐味と言えるが、「旅の最大の悦楽なり」と言った人もいる。

◆その地を訪れた思い出となる品は、時には拾った石ころや枯れ葉だったりするが、大抵は土鈴や根付けなどの小物に落ちつくことが多い。「土産」と書くからには、その土地以外では求め難いものが望みだが、物流の四通八達した利便さから、どこも似たりよつたりの物がフンサとある。外国に出掛け日本製と刻印のある物を買うようなもので、そんな中から相応しいものを探すのは容易ではない。たぐさんの類似品に迷わされず、自分の心の琴線に触れる品が選り出せれば言うことほない。根が各坊(しわんぼ)なれば、出来るだけ安価なものをと探し回ったりし

は直ぐに忘れてしまっが、人との触れ合いは思い出となって残る。そして旅を記念する何かがあれば、それからそれへと思いは蘇るものだ。昔の旅は、徒歩により苦労の連続だったろうが、人との触れ合いが大きな部分を占めていたと思われる。喜怒哀楽の中に人との触れ合いを楽しみ、互いが忘れ難い思いを抱きつつ別れたらうと思うのである。今は乗り物による移動だから、極楽をゆくようなもの。行く先々で土産を買い込み、笑って歌って、食へては酒に酔っているのである。

◆ある時期、小さなスゲ笠を集めていた。伊豆の浄蓮の滝で求めたのが最初で、湯村・白兔海岸・木曾妻籠・熊野古道と、それぞれの笠に土地の名前が大書きしてあり、旅の思い出が蘇ってくる土産品だった。木曾の松笠はしばらくはフノキの良い香りがしていたが、少しずつ褪せてパフパフ見すばらしくなった。菓子類は食べてしまえば形は無くなるが、美味しい味の思い出は残る。土地の銘菓は、何かしら気持ちはとらえて離さぬ魅力があつて嬉しいものだ。左党には地酒というのも嬉しいだろう。隠れた名品は、どの地にも存在するが、そんな品こそ土産に相応しい。

◆ツアー旅行で緒になった人は、立ち寄り先々で買い物に精をだしていた。大型バス歓迎の販売所では、そんな客のため土地の名前入りの土産品が用意してあり、次々に買い込むことになる。バスの荷棚は、そんな土産で溢れるが、それも団体旅行の「マ」。これは誰へ、あるいは彼に進呈しようと思いつくのも旅の楽しみなのである。旅立ちに際し、饅頭を買ったりすれば土産の心配が要るからと隠密行動をとって、あとバシて恨まれたりする。ともあれ、遠くの知らない町を訪ね、土産を求めて歩きたいのである。



「こうべ男女共同参画推進月間(≒10月)」について

21世紀を目前にした現在、少子・高齢化、経済の成熟化・国際化、情報化の急速な進展など、われわれをとりまく経済・社会は大きな転換期を迎えています。

こうした状況の中で、女性も男性も「男は仕事、女は家庭」といったような性別による固定的な役割分担にとらわれずに、社会の対等なパートナーとして、それぞれの個性と能力を十分に発揮できるような社会づくりが必要となっています。

神戸市では、平成10年に、職場をはじめ、家庭、地域、学校など社会のあらゆる分野における男女共同参画社会の実現をめざして「こうべ男女共同参画プラン21」を策定し、現在、プランに基づいて各種事業を実施しています。そして、本年より、毎年10月を「こうべ男女共同参画推進月間」と定め、1ヶ月間にわたって、様々な啓発行事を実施します。

「ひょうご女と男のいきいきフェスタ2000

「男女共同参画社会をめざす女性ミレニアムフォーラム」の開催について

兵庫県では、「男女共同参画社会基本法」の理念や、行政、企業における取り組みを広く紹介するとともに、男女共同参画社会を実現するための課題について考える機会とするため、上記フォーラムを開催します。奮ってご参加ください。

開催日時 平成12年11月17日(金) 午後1時30分から4時

開催場所 神戸クリスタルタワー3階ホール

内容 基調講演 テーマ:「21世紀の扉を開く!一よりよい男女共同参画社会の実現に向けて」

講師:有馬真喜子(財)横浜市女性協会理事長

シンポジウム テーマ:「男女共同参画社会実現への現状と課題」

パネリスト:有馬真喜子・正司泰一郎(宝塚市長)

山極 清子(株)資生堂人事部課長

コーディネーター:三輪 昌子(生活評論家)

編集後記

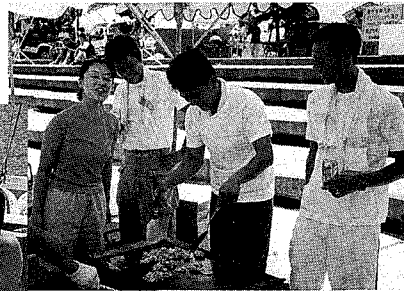
◆今回はブラジル・アルゼンチン・メキシコ・中国と旅の報告が重なり、旅好きの私としてはことのほか羨ましい限りです。

◆朝夕の涼しさ、職場の衣替え、私の旺盛なる食欲etc.秋を実感しています。(私の中に読書の秋がないのは寂しい限りです。)

海のフェスタ



海のフェスタで知り合いゴールインした佐野漁協の磯口太志・清美さん夫婦



既婚者は裏方、参加者の為に汗ダクで焼きそばを焼くメンバー



海のフェスタで知りあって、3人の子供に恵まれた丸山漁協の亀井一明・小百合さん夫婦



参加者全員集合

【2000年8月27日放送
第1196回】

ロケだより

淡路 海のフェスタ2000 淡路地区漁協青壮年部の活動 〈淡路島各地より〉

一九九一年から淡路島で始められた「海のフェスタ」。今、全国の農山漁村が共通して抱える、高齢化・後継者不足・花嫁不足等による産業活力の低下が淡路島でも地域によって違いはあるものの、例外なく問題となっている今日…この様な状況を少しでも打破する窓口を…、若者同志の交流の場の一つとして、又、漁業に対するイメージアップを図ることを目的として始まった「海のフェスタ」。

今年で九回目となりますが、今までに六組のカップルが誕生しました。番組はその「海のフェスタ」の模様と淡路の漁協青壮年部の日々の取り組み等を交えて放送、チリメンのプレゼントに八百通余りのハガキも寄せられました。今回はそのハガキの一部をご紹介します。

①大阪府堺市の三十二才の主婦の方からのハガキ。「魚を獲るだけでなく稚魚を育て放流したり、小学生に地曳網体験をして、魚について勉強したり、お見合いパーティも手作りして、自分達で何でもしようと言っ取り組みがとてよかったです。」

②奈良県生駒郡の二十九才の主婦。「旭口漁協青壮年部さんでは地元の子供たちに地曳網の体験をして下さっているのです。地元産業を知る生きた教育だと感動しながら見せていただきました。」

③神戸市北区の二十七才の主婦。「淡路島と地元の事でもあり、分かりやすい内容で海産物への島をあげての取り組みが、とてもよかったです。海に接し、いろんな文化の発進 継承の盛んな神戸で、そういった活動をもっと淡路島の子供たちだけでなく広い範囲で子供たちが自ら学び参加できる機会に恵まれることを、学校以外でも母親として望んでいます。子供・テレビ見て大喜びでしたので。」

④大東市の女性。「海のフェスタと言うイベントがある事も初めて知りました。次回は是非行ってみたいと思います。サザエ・アワビ等を丁寧に大切に中間育成されているのを見て、とても感動しました。「こちら海です」を見ていると海の大切さや海を大事に守っている人々の事がよく分かり、自分自身も海へ行きた時、今までと違う見方をするようになった。小さなことですが浜辺のゴミを拾って帰るなど、気をつけるようになり海を大事にしようと言う気持ちが大きくなりました。番組を見て海について色々学び、そして海や自然を大切にしていこうと思いました。」

⑤京都市の二十八才の主婦から。「海の恵みを採るだけだった漁業から育てる漁業へと実践されている方々。育てるには時間がかかり、健康が大きく育てるには並々ならぬ苦労があるのでしょうね。地域の子供たちに海とその恵みの大切さや注意点を教えておられることにも感心しました。淡路であんな素敵なイベントが行われていたなんて初めて知りました。私は簡単に合いませんが、未だ彼氏のない妹や友人に教えてみます。素敵なお若夫婦で次世代の漁業が発展していってほしいです。」

このように、知らなかったと言う人は是非参加したいと言うおハガキも沢山ありました。海のフェスタはカップル誕生と言っより、漁業の現場を少し垣間見て頂く機会になったのだと思えます。番組では今後も少しでも漁業…そして海の素晴らしさ…大切さを…視聴者の皆さんに見て頂けるよう…海を見つめる目を広く考えて行きたいと思えます。

2000年10月10日発行 通巻528号 昭和32年10月18日 第3種郵便物認可 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会 発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 (財)兵庫県水産振興基金 0844 〒652-3445 神戸市兵庫区中之島2-1 TEL 652-3445 定価80円 (本体76円) FAX 671-6685